

令和4年度病床機能報告における  
非稼働病棟等の状況について

# 非稼働病棟等への対応について

平成30年2月7日付け医政地発0207第1号地域医療計画課長通知「地域医療構想の進め方について」に基づき、令和4年度病床機能報告における非稼働病棟等の状況を確認

## ① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

- ・ 病床機能報告の結果等から、病床が全て稼働していない病棟※を有する医療機関を把握した場合には、以下の説明を求めること。
  - ①病棟を稼働していない理由
  - ②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画

※ 病床が全て稼働していない病棟とは、過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟

## ② 過剰な病床機能に転換しようとする医療機関

- ・ 病床機能報告の結果等から、過剰な病床機能に転換しようとする医療機関の計画を把握した場合には、病床機能を転換する理由について説明を求めること。

## ③ 急性期医療を提供していない病棟を有する医療機関

- ・ 高度急性期又は急性期と報告した病棟のうち、急性期医療を全く提供していない病棟については、その妥当性を確認すること。

# 非稼働病棟等の状況について

## ① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

圏域	医療機関名	病棟名	医療機能	病棟を稼働していない理由	今後の運用見通しに関する計画
東濃	社会医療法人 厚生会 多治見市民病院	HCU病棟 (2床)	休棟等 再開予定	看護師不足に伴い受け入れを一時中断。運営が社会医療法人厚生会になって以後、入院患者数は増加傾向で再開の検討を行っていたところ、新型コロナウイルス感染症が大流行。現時点では新型コロナウイルス感染症患者1病棟26床の入院受入や、発熱外来に重点的に看護師を配置しており、看護師を配置することは困難なため稼働していない。	新型コロナウイルス感染症が収束し、人員の用途が立ち次第運用を再開予定。ただし、病床区分としては高度急性期ではなく、回復期（地域包括ケア病棟）を積極的に検討する。なお、2床での運用は効率的ではないため、急性期病棟の一部についても同時に回復期への移行を検討する。
東濃	総合病院 中津川市民病院	東2階病棟 (44床)	休棟等 再開予定	国や県の発表する詳細なデータを検討した結果、当院の診療圏内の医療ニーズのうち入院需要は、今後20年ほぼ横ばいであることが明らかとなっている。これは市内の入院患者のうち80-90%が高齢者であり、その高齢者人口が2040年まで±1%以内の増減で推移するためである。しかしながら、現在職員確保が困難で、特に看護師の不足が問題となっている。特に新型コロナ感染症によるここ3年は全国的に看護師不足となっている。看護師不足により当院では入院患者数を低めに抑え、平均在院日数を短くする必要があった。地域の方々から「早く追い出される病院」「市民にやさしくない病院」とのご意見をいただいている。看護師などの職員確保のめどがつき次第、地域患者さんの希望に沿うよう当院の平均在院日数を東濃圏域の平均在院日数にする予定である。この場合、病床稼働率が16%上昇し、現在稼働中の病床数でのスムーズな病床運用が厳しくなる。このため、職員が増加させられるまで休床とし、職員確保に努めている。	2023年総務省資料によると、今後の日本の総人口は減少しても高齢者人口は大きく減少せず、2065年においても9%程度の減少とされている。当市においても今後20年間は高齢者人口に変化はないと予測されている。また4年後にはリニア中央新幹線が稼働予定である。当市のリニアの開通自体は急激に大きな変化をもたらすものではないが、リニア駅周辺に整備工場・車両基地ができ、2000人もの雇用が生まれ、その従業員の家族を含めた生産年齢人口の増加が期待されている。生産年齢者の入院比率は低いものの人口の増加は、全体の入院増加をもたらすため、3.「病棟を稼働していない理由」で述べたように、職員の確保ができた暁には現在の休病床を再稼働させたいと考えている。中津川市は坂下診療所を民営化しようと考えている。

## ② 過剰な病床機能に転換しようとする医療機関

該当なし

## ③ 急性期医療を提供していない病棟を有する医療機関

該当なし